

日本医師会女性医師支援センター事業



女性医師支援センター事業について

医師総数（約32万人）に占める女性医師の割合は約21%（平成28年）であるが、国家試験合格者では女性医師は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。**女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図り、**医師確保対策に資することを目的とする。（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）

○平成18年11月

厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託

○平成19年1月

日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）
女性医師バンク以外の事業も開始

○平成21年4月

「医師再就業支援事業」改め「**女性医師支援センター事業**」へ
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）

平成30年度女性医師支援センター事業計画（概要）について

1. 女性医師の就業・復職支援（女性医師バンク）

就業斡旋、就業に関わる育児・介護等の相談、求職・求人登録数増加に向けた施策、都道府県医師会・大学医学部・医学会・行政等との連携、病児・病後児保育の実情把握等

2. 女性医師のキャリア継続支援

- 「医学生、研修医等をサポートするための会」の実施
- 「女性医師支援センター事業ブロック別会議」および「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
- 「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」の開催
- 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会の開催
- 地域における女性医師支援活動の促進

3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

4. 女性医師支援シンポジウム等の開催

5. 「医師の働き方改革に関する検討会」対応

1. 日本医師会女性医師バンク

厚生労働省の委託を受け、平成19年1月30日開設

今後急増していくと予想される女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的としています。

日本医師会 女性医師バンク お問い合わせ 03-3942-6512

ホーム 常勤・非常勤検索 スポット検索 初めての方へ 事例紹介 よくあるご質問

常勤・非常勤 スポット

勤務形態 ☐ 常勤 ☐ 非常勤 ☒ どちらでも

勤務地 未選択 未選択

科目 選択する 特徴 選択する

さらに条件を絞り込む

検索する ※ 検索条件をクリア

現在の求人数 2471 件

ユーザID (メールアドレス)
パスワード
パスワードをお忘れの方
☐ ログイン状態を保持
ログイン

女性医師バンクの
復職支援
子育てからの復帰をサポート！
無理なく勤務できる施設をご紹介します。

お仕事を探しの先生 新規登録はこちら

医師をお探しの医療機関 求人情報掲載の中込み

常勤・非常勤検索

勤務形態 ☐ 常勤 ☐ 非常勤 ☒ どちらでも

勤務地 未選択 未選択

科目 選択する 特徴 選択する

さらに条件を絞り込む

検索する ※ 検索条件をクリア

条件絞り込みの結果: 2522 件

1 2 3 4 5 NEXT >>>

非常勤 募集科目: 婦人科 [愛知県豊川市]

当直なし 託児所あり 週1日～可 年齢不問 車通勤可 (駐車場あり)

平成30年4月より新築移転を機会に健診センターを開設しました。婦人科検診では女性医師、技師による検診で地域の健診率の向上を目指しています。是非、一度、施設の見学も食のお気軽にお尋ねください。

所在地	愛知県 豊川市
施設種別	健診
募集科目	婦人科
業務内容	一般健診・人間ドック/子宮がん検査(頭がん)/乳がん検査/画像診断(読影)
曜日と時間	月曜日 8時30分～17時30分 水曜日 8時30分～17時30分 土曜日 8時30分～17時30分

+ 検討中リストに追加 詳細を見る

1. 日本医師会女性医師バンク

女性医師バンク 2つの支援体制

① キャリア継続支援 (離職防止)

ライフステージに応じた柔軟な勤務形態を選び勤務ができます。

常勤

非常勤

スポット

② 復職支援

再研修のための施設をご紹介します。
離職期間の長い方でも安心して復職いただけるよう支援いたしております。

研修

就業先の紹介

女性医師バンクの特徴

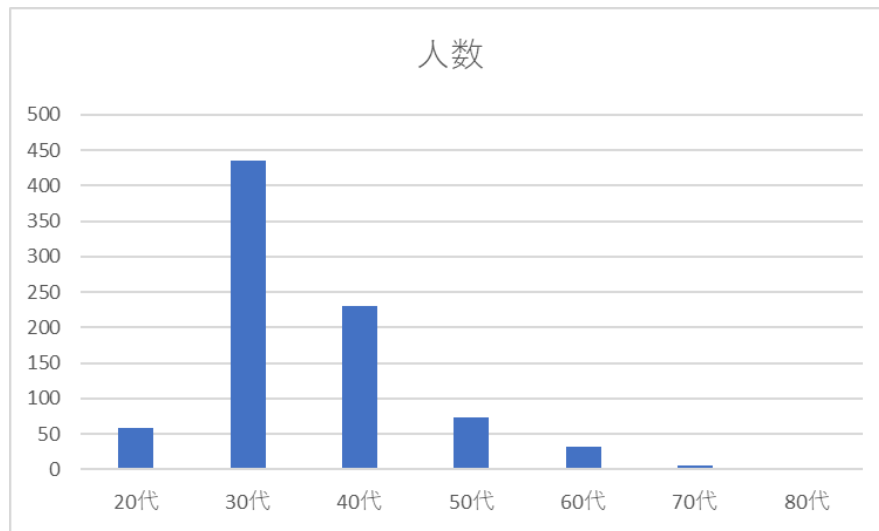
1. 求職・求人ともに登録料、紹介手数料等の費用は一切無料。
2. 日本全国、日本医師会会員、非会員問わず利用が可能。
3. 専任コーディネーターがお一人お一人の実情にそったきめ細かいサポート。
4. 医師のアドバイザーが専門的な相談にも対応



1. 日本医師会女性医師バンク

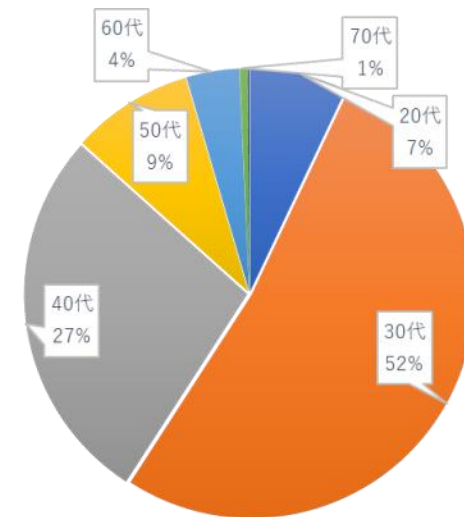
□女性医師バンク求職登録者状況

図1 女性医師バンクに登録した時点の年齢



女性医師バンクの求職者の約5割は30代
近年では、50代の方のご登録も増加傾向

図2 登録者の年代別比率



※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

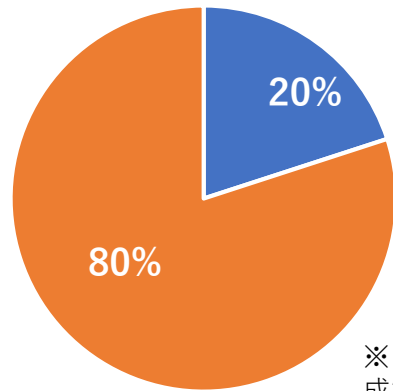
出産・育児等ライフイベントの時期と重なる
親の介護の問題なども出てくる年代

今後はますます多様な働き方を希望する女性医師が増えてくると予想されます。

1. 日本医師会女性医師バンク

□女性医師バンク求職登録者状況

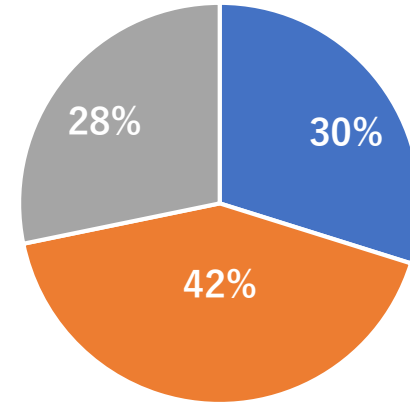
図3 1年以上の離職期間がある求職者割合



※日本医師会女性医師バンク 平成29年2月現在

■ 1年以上の離職期間あり

図4 希望勤務形態の割合



■ 1 常勤 ■ 2 非常勤 ■ 3 パート・アルバイト

求職登録者の約2割が1年以上の離職期間があり再就職を希望して登録



ワークライフバランスを重視した結果と考えられる

離職期間のある求職者の平均的な離職期間は4.5年



復職を支援するためには再研修が必要不可欠

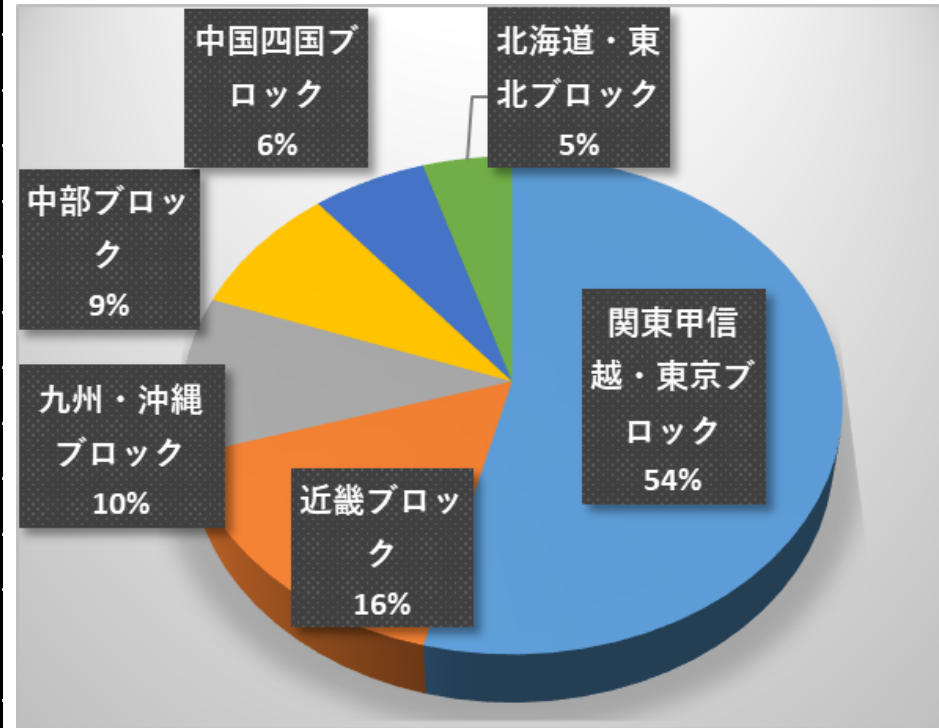
このような女性医師の活躍の場を広げることで深刻化している医師不足解消につながると考えられます。

1. 日本医師会女性医師バンク

□女性医師バンク求職登録者状況

◆ H29年度 求職仮登録件数（都道府県別）

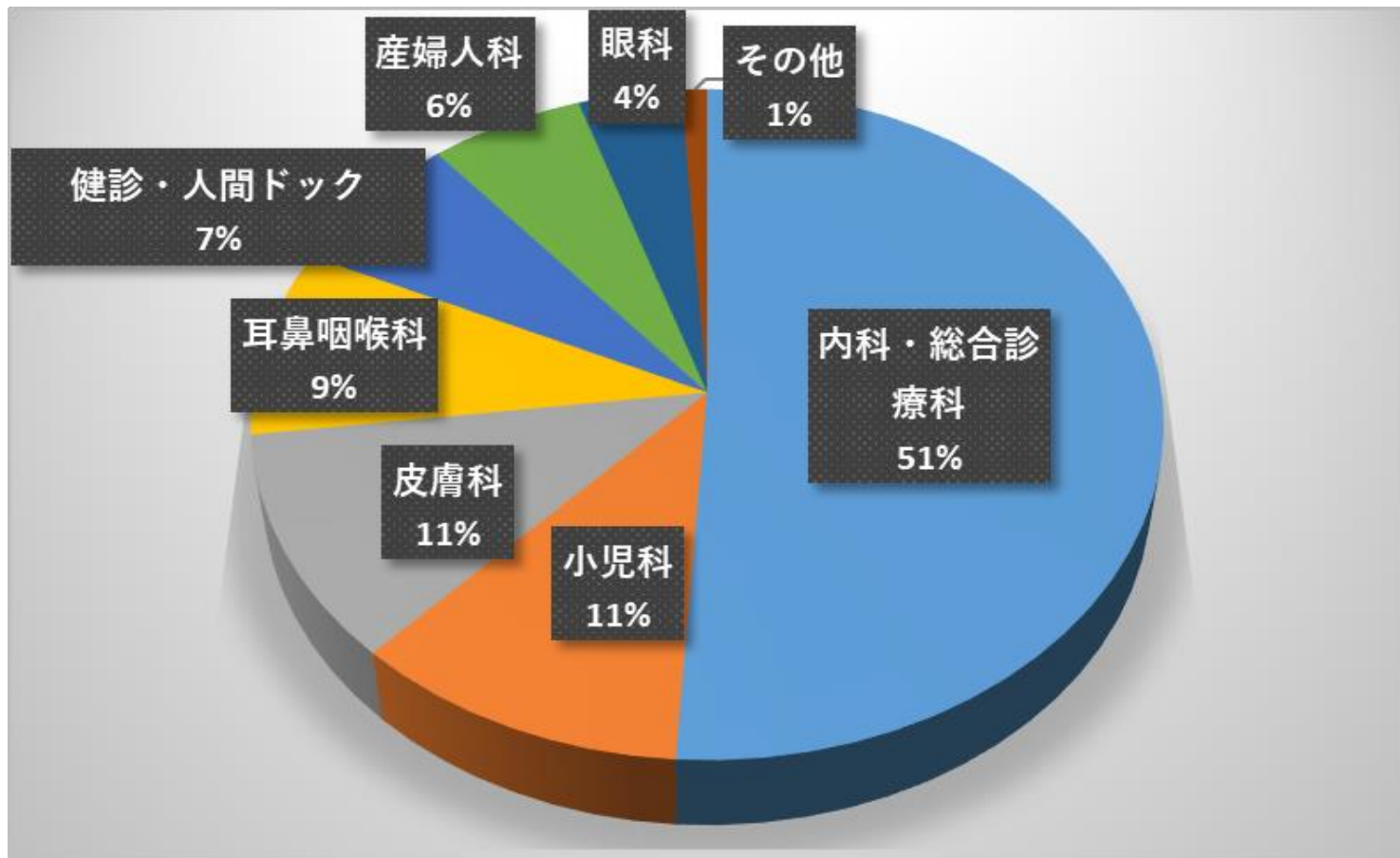
都道府県	仮登録件数（件）
東京都	113
神奈川県	26
大阪府	23
福岡県	20
兵庫県	15
愛知県	14
岡山県、埼玉県、北海道	7
千葉県	6
京都府、静岡県	5
宮城県、広島県、長崎県、 愛媛県、沖縄県、奈良県	4
岐阜県、群馬県、滋賀県、栃木県、 富山県、福井県、福島県	2
茨城県、宮崎県、熊本県、香川県、 高知県、佐賀県、山形県、山口県、 長野県、島根県	1
合計	239件



1. 日本医師会女性医師バンク

□ 女性医師バンク求職登録者状況

❖ H29年度 求職登録者の状況（診療科別）



1. 日本医師会女性医師バンク

■コーディネート事例（1）

～ 約10年出産・子育てのため離職していたN先生（小児科）～

N先生は上のお子様を出産された約10年前に離職。下の子が小学生になったため再度復帰を考える。

<先生のご希望>

将来的には常勤を考えているが、今はまだ家庭を優先させたい。勤務時間も融通のきく無理のない復帰を希望。長期離職していたため、初めは研修をさせていただける施設を希望。



<コーディネート内容>

- ・ 先生のご自宅近くで週3日の非常勤を募集していたクリニックを紹介。
- ・ ブランクがあるため、はじめは研修を受けられるよう施設側に依頼。
⇒ 院長先生がご対応くださるとのことと解決。
- ・ 勤務時間は子供たちの帰宅には家にいられるよう、15時までの勤務で交渉。
- ・ 子供の急な発熱に備え、施設側にあらかじめフォローできる環境の整備を依頼。

コーディネートの結果、10年間のブランクを経て復帰が決定！研修期間を経て、現在週4日の非常勤として勤務されています。

1. 日本医師会女性医師バンク

■コーディネート事例 (2)

～ 初期研修後すぐに離職、7年間離職していたS先生（皮膚科）～

S先生は初期研修後すぐにご結婚し、夫の転勤とともに地方へ。
子供が小学生になり自分の時間が持てるようになったため再び仕事を始めたいと思い始めたが約7年の
ブランクがあるため、どのように復帰すればよいか悩んでいるとのこと。

<先生のご希望>

子供がまだ小学生なので、できるだけ自宅の近くの施設を希望。子供を預ける先がないため、残業、当直は不可。



<コーディネート内容>

- ・後期研修を終えておらず経験不足のため、まずは後期研修から始めることを提案。
- ・自宅近くで受け入れ可能な施設が見つかったが、週に1度の勤務時間外のカンファレンスへの参加が必須に。
 - ➡ ご主人様に週に1度早く帰宅しご協力いただくことで解決。
- ・当直については免除してもらえるように施設側に依頼。

コーディネートの結果、7年間のブランクを経て後期研修再開。

1. 日本医師会女性医師バンク

■コーディネート事例 (3)

～ 現在妊娠中、出産後も常勤でキャリアを積みたいT先生（内科）～

T先生は現在、大学の医局に所属し常勤で当直もこなしているとのこと。現在、妊娠中で半年後に出産予定。出産後も常勤でキャリアを積みたいが、産後しばらくは、今までと同様に当直をこなすことは難しいと感じ、女性医師バンクに相談。

<先生のご希望>

子育てが落ち着くまでの間は、少しゆったりした勤務で働きたい。

当直はしばらくは難しいので、考慮いただける施設を希望。院内保育を希望。



<コーディネート内容>

- ・院内保育のある施設での紹介が難しかったため、病児保育も行っている託児所が近くにある、クリニックをご紹介
- ・複数診体制のクリニックのため、急なお休みも可能とのこと。
⇒お休みが可能とのこと、求職者の先生も安心して子育てと勤務を続けられるとのこと。

コーディネートの結果、産後3か月から復帰され、常勤で勤務されてます！

1. 日本医師会女性医師バンク

【女性医師バンクをご利用いただいた求人施設からの声】

①女性医師バンクをご利用されたご感想

- ・定年を越えてご勤務いただいていた小児科医の後任を探していたところ、日本医師会女性医師バンクより子育て中の先生をご紹介いただきました。お住まいの地域から40分ほど距離がある当院ですが、週3回、3～3.5時間の勤務条件にも関わらず、先生には都合がよいとこのことで成立し、無事に前述の先生に引退していただくことができました。
- ・子育てによる臨床経験年数の少なさが当院にとっては心配でしたが、優秀で意欲的で、抄読会に参加されたり、当院の治療方針にも理解を示され、医師らとディスカッションしながら協力し合って仕事に取り組んでいただいています。また、患者・家族に丁寧な説明をされるため、スタッフ、医師からの評判も良いです。
- ・臨時のご勤務にも都合をつけて対応して下さるため、他の医師の出張や夏期休暇もこれまで通り保障でき、助かっています。良好的な関係を築けていることをありがたく感じています。今後も仕事の幅を広げたり先生のキャリアアップに協力したいと考えています。

②女性医師バンクに今後期待することは？

- ・当院も女性医師が多く、限られた条件の中ではありますが、いろいろな働き方ができないかを模索しています。子育て中でもキャリアの維持を要望される先生と当院の求人条件が合えば採用を検討したいため、今後とも事業を継続していただき、良い先生をご紹介いただきたいと思います。

1. 日本医師会女性医師バンク

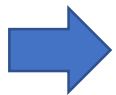
各関係団体との協力体制構築の推進

女性医師バンクでは、各関係団体との協力体制の構築を進めています。

❖都道府県医師会との連携

- 各都道府県ドクターバンクとの連携
- 会報等への女性医師バンクの広告掲載、チラシの同封についての協力
- その他女性医師支援に関する情報の共有等

更なる事業の拡大に向け



「女性医師支援・ドクターバンク事業担当役職員連絡協議会（仮称）」
2019年1月に開催を予定。

❖医学会との連携

- 医学会のドクターバンクとの連携
- 会報等への女性医師バンクの広告掲載、チラシの同封についての協力
- 各イベントや学会総会などへの女性医師バンクのブース出展、女性医師支援に関するランチョンセミナー、シンポジウム等での女性医師バンクのグッズ配布等

1. 日本医師会女性医師バンク

各関係団体との協力体制構築の推進

❖行政との連携

- 公衆衛生医師、検疫官、矯正医等の求人の協力
- 保健所長会など、行政で医師が必要される部署等の会議で女性医師バンクの周知
- 求人情報の提供

❖東京女子医大キャリア形成センターとの連携

●再研修での連携

女性医師バンクの求職登録者のうち再研修が必要な方に東京女子医大の研修部門を紹介



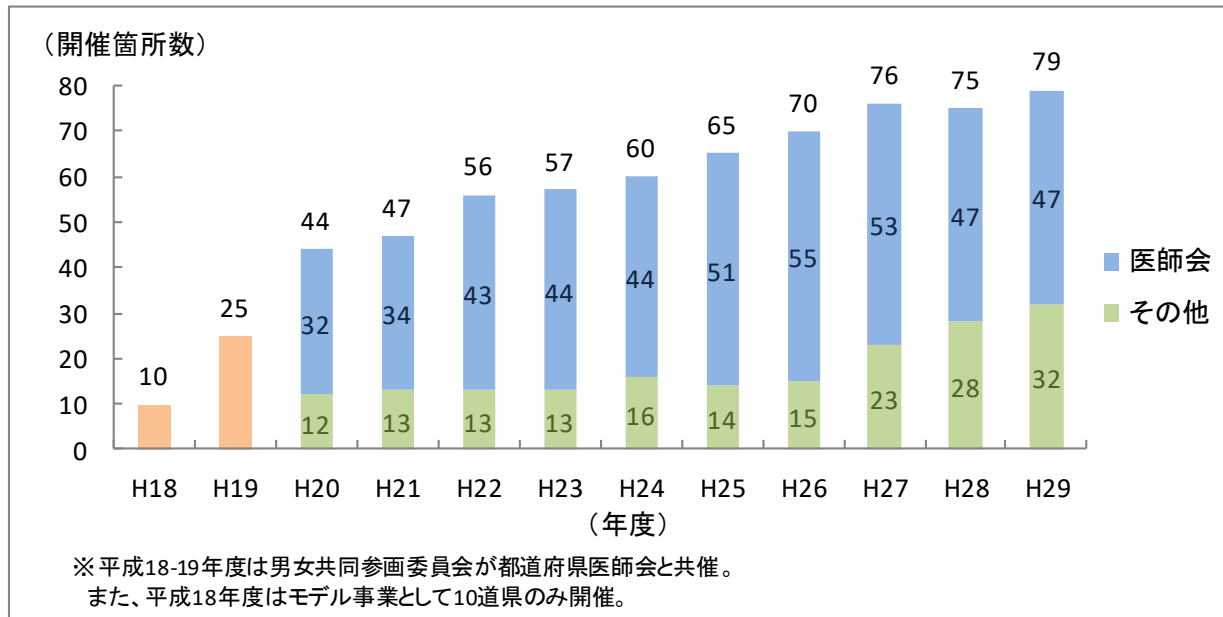
研修終了後、女性医師バンクで就業先をあっせん。

2. 女性医師のキャリア継続支援事業

●「医学生、研修医等をサポートするための会」の実施

女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮するためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、**医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解**しておくことが求められる。本講習会等を通じ、**医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続**できるよう、**多様な医師像のモデル**を提示する。

◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼



◇ 開催に掛かる費用のうち、平成29年度以前は30万円を上限として、本会が負担。平成30年度は20万円。

2. 女性医師のキャリア継続支援事業

● 「女性医師支援センター事業ブロック別会議」 および

「女性医師支援事業連絡協議会」の開催

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただき、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。また、各地で実施されたブロック会議の内容を、全国規模で情報共有し、意見交換を行う機会として開催「女性医師支援事業連絡協議会」を開催しています。

<女性医師支援センター事業ブロック別会議> (平成29年度の実施状況)

◇北海道・東北ブロック (担当：岩手県医師会)

日 時：平成29年12月3日 (日) 10時～12時15分

場 所：盛岡市内ホテル

◇関東甲信越・東京ブロック (担当：日本医師会)

日 時：平成30年1月6日 (土) 15時～17時

場 所：日本医師会館

◇中部ブロック (担当：石川県医師会)

日 時：平成29年11月12日 (日) 12時～14時

場 所：金沢市内ホテル

◇近畿ブロック (担当：大阪府医師会)

日 時：平成29年10月14日 (土) 15時～17時

場 所：大阪市内ホテル

◇中国四国ブロック (担当：徳島県医師会)

日 時：平成29年11月4日 (土) 15時～17時15分

場 所：岡山コンベンションセンター

◇九州ブロック (担当：大分県医師会)

日 時：平成29年12月16日 (土) 14時～16時

場 所：大分市内ホテル



<女性医師支援事業連絡協議会>

日時：平成30年2月14日 (水) 14時～16時半

場所：日本医師会館

2. 女性医師のキャリア継続支援事業

●大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会

日本医師会女性医師支援センターの取り組みの周知や、各大学医学部および各医学会における女性医師支援や男女共同参画に関する取り組みについての情報交換を目的としています。この連絡会は、日本医学会連合との共催で開催しています。

【平成29年度の実施内容】

【開催日時】 平成29年9月29日（金） 14時～16時30分（於：日本医師会大講堂）

【参加者】 ・各都道府県医師会から推薦いただいた、管内の大学医学部の女性医師支援や男女共同参画の担当者
・各日本医学会分科会（126学会）の女性医師支援や男女共同参画の担当者
・都道府県医師会担当役員等

【内 容】 1. 日本医師会女性医師支援センターの取り組みについて
2. 女性医師の勤務環境の現況に関する調査について
3. 事例発表

（1）大学の取り組み

①岡山大学：片岡仁美 先生、②自治医科大学：石川由紀子 先生

（2）学会の取り組み

①日本内科学会：名越澄子 先生、②日本外科学会：中村清吾 先生

4. 意見交換



2. 女性医師のキャリア継続支援事業

● 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」

女性医師がキャリアを中断することなく、就業を継続するためには、病院長を始め上司・同僚の理解が不可欠であることから、女性医師に関する就業上の問題点を明らかにし、子育て支援についての理解を深めることを目的とした講習会の開催を行っております。

ほぼすべての都道府県医師会において開催することができたこと、また、対象となる病院長、病院開設者・管理者等の交代が、

それほど頻繁ではないこともあり、平成21年度以降は一旦休止。

※平成25年度より再開し、**平成27年度で再休止**。

年度	開催回数
	(都道府県医師会と共催)
平成18年度	22回
平成19年度	28回
平成20年度	31回
平成25年度	22回
平成26年度	24回
平成27年度	22回

法律や制度面での変化

病院長等、対象者の入れ替わり

**H30年度は、標記講習会を再開し、
女性医師の勤務環境の整備をさらに推進**

2. 女性医師のキャリア継続支援事業

●地域における女性医師支援懇談会

地域で活躍されている女性医師などにより、2020.30の実現、女性医師支援のあり方などについて、各地でディスカッションいただき、実践していただくことを目的とし、また、本活動に参画いただける方々との連携を深める機会としても活用いただいております。

1. 実施体制 日本医師会女性医師支援センター（以下、センター）が主催。各地で女性医師支援活動がされ懇談会を開催していただける方に実施責任者となっていただく。各医師会等、他団体との共催も可能。（ただし、会の名称を併記）。参加人数は、10～20名程度を想定。
2. 実施期間 平成30年4月～平成31年3月
3. 費用 ①お茶代、場所代等として、一部をセンターが実費負担。
②事務経費（通信、印刷）として1開催につき一定額を負担。
※参加者旅費は対象外。
4. 会の名称 名称は「地域における女性医師懇談会」とし、それに各地域においてふさわしい呼称を加えていただく。
例）「地域における女性医師支援懇談会 ～煌きの会～」
「地域における女性医師支援懇談会 ～ハナミズキの会～」 等
5. その他 女性医師バンクの広報の場として活用し、アンケートなどを通じて参加者の意見を集約する。

※平成29年度は、57回開催し、延べ925人が参加

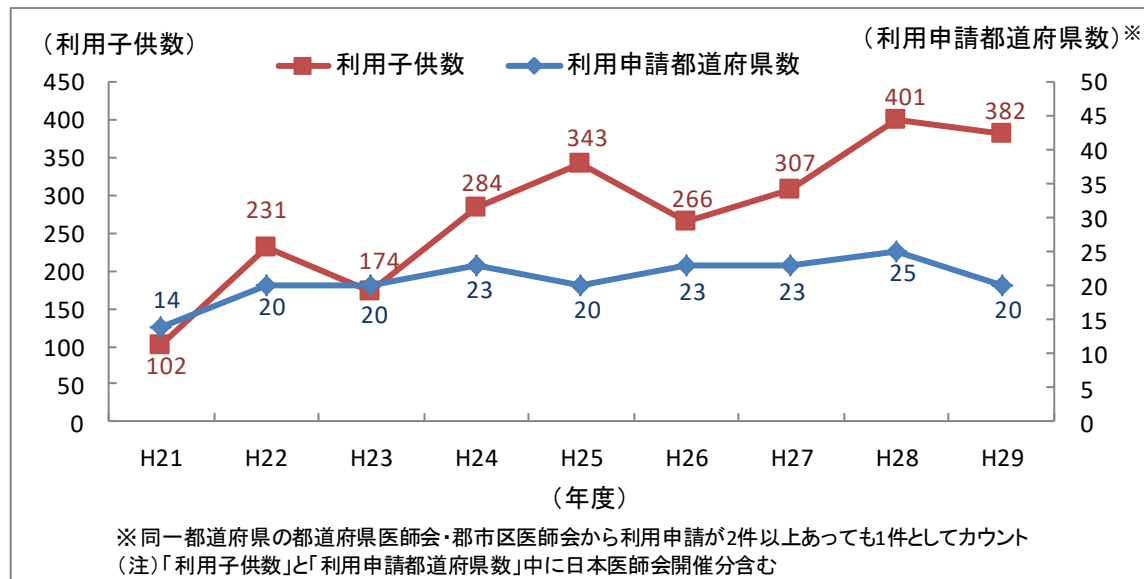
3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

育児中の医師の学習機会の確保を目的として、都道府県医師会、郡市区医師会が主催する研修会・講演会・講習会などへの託児施設の併設促進として費用の補助を行っております。
昨年度は20の都道府県医師会から補助の申請がありました。

①研修会・講演会・講習会などへの託児施設の併設促進と費用の補助 (育児中の医師の学習機会の確保)

→都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講演会等については、平成21年度から費用を補助（基本30万円）。

<補助実績>



4. 女性医師支援シンポジウム等の開催

女性医師シンポジウムを開催にも積極的に取り組んでいます。

昨年度は、愛媛県西予市とのタイアップにて「第6回西予市お伊ネ賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム」を開催いたしました。本シンポジウムは**今年度も11月18日（日）に開催を予定しております。**

第6回西予市お伊ネ賞事業表彰式・日本医師会女性医師支援シンポジウム ～もっと素敵なお伊ネ市へ～

【主催：西予市、日本医師会、愛媛県医師会】

【開催日時：平成29年11月26日(日)13時～16時】、【場所：西予市宇和文化会館】

<第1部>

第6回西予市お伊ネ賞事業表彰式（13時～13時50分）

<第2部>

日本医師会女性医師支援シンポジウム（14時～16時）

I 基調講演 座長：今村定臣（日本医師会常任理事）

1. 健康寿命と輝き思考 ～素敵に歳を重ねよう～

海原 純子（日本医科大学特任教授、心療内科医）

2. 女性医療職の輝く明日へ～地域の健康をめざして～

自見 はなこ（参議院議員、東海大学医学部医学科客員准教授）

II パネルディスカッション

座長：久野 梧郎（愛媛県医師会長）

1. 安心して暮らせる地域づくり 管家 一夫（西予市長）

2. パネルディスカッション

登壇者：管家一夫（西予市長）、海原純子、自見はなこ、

井関満永（西予市医師会長）、今井淳子（愛媛県医師会常任理事）

III 総括 今村 定臣



楠本イネ

*西予市ホームページより

女性医師支援センターホームページのリニューアル

「情報発信」の強化を目的に、女性医師支援センターホームページをリニューアル予定です。（※H30年秋ごろに完成予定）
今まで以上に情報発信を行っていく予定です。

メインのページ



各関係団体向けのページ



女性医師支援センター

<http://www.med.or.jp/joseiishi/>

女性医師バンク

<https://www.jmawdbk.med.or.jp/>